



を除いて、平成15年10月を最後に労災事故は発生していません。労災の発生は怪我をした本人のみならず、収支悪化により会社の労災保険料率が上がり会社も大きな痛手を受けます。又、業界全体の保険料率まで見直しを受けます。今後も「災害ゼロ」を活動を続けていただきたいと思います。



今年度も気持ちをリセットして顧客満足を意識した仕事をして南陽営業所を盛り上げていきたいと思えます。

「労働災害防止策と 警備員の意識」
警備課・大島保之
災害防止論文 優秀

協会表彰を受ける
代表取締役社長 吉野 徹

第42回全国ビルメンテナン協会通常総会において労災保険収支優良地区協会として表彰を受けました。山形県協会は労災収支悪化を受け平成14年より労働安全衛生大会を開催し、労災事故防止に二丸となって取り組みを開始しました。平成15年私が山形県協会長になってからも労働安全衛生は協会の最重要課題と位置づけ労災防止に取り組んでいます。当社においても同年安全衛生委員会を再編成し、労災事故0を目指してきました。そのような努力が実り収支率が改善、平成16年度収支率では全国47協会中第3位の成績を残すことができました。当社に於いても1件の通勤災害

おじやましま〜す
みんなの職場
南陽営業所では決められた作業手順やお客様への心配りを大切に、余裕を持った行動で労災ゼロを目指しています。
昨年度、皆川部長は既存の年度契約のほかに新規の仕事を受注し年間700万円の売り上げをプラスさせようとおっしゃいました。初めのうちは「難しいのでは?」と思っていました。既存の各施設の仕事を含め、新規の各施設の仕事を含め、新規の仕事については全員で作業の取り組みを話し合い、一杯に進んできました。その結果700万円以上の売り上げを伸ばすことができました。
一つの目標を立てていただいたことよって毎日仕事に対する意欲がわき、災害を起こすことなく一丸となって取り組むことができました。この達成感はずばらしいものでした。



「南陽営業所は明るく楽しい職場です。」
紹介・山崎主任
写真・山口佳子

「8年度 安全衛生大賞」
大会に参加して、安心して働く事ができる職場は、私たちにあって、とても幸せな事であると再確認しました。この幸せを長く維持するには、一人一人の気持ちをひとつにする事が重要です。
論文発表 大島保之

「富士登山に思う」
安全衛生委員長 赤間 俊明

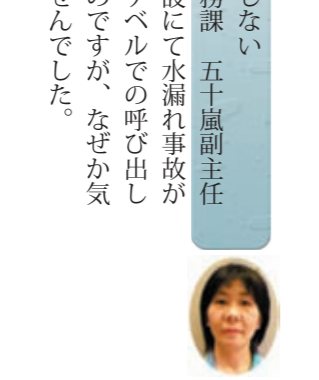
七月十日 富士登山
七合目の山小屋に一泊
一面に広がる雲海を眼下にした時の感動 天候が回復し手が届きそうな満天の星 下界に点々と灯る街の明り まるで別世界にいる
早朝出発
七合目から本八合目(3360M)は急勾配の火山礫の連続と空気の薄さを実感 もう頂上は目と鼻の先 手が届く所に見えるあと少し でも ここが難関 更に急勾配の火山礫が待ち受け一〇分ひたすら登り五分休憩の繰返し「遠い・・・」

決定!
社長賞・専務賞
安全衛生標語
社長賞
作業手順
変えるな 省くな 手を抜くな
皆川部長
ヒヤリハツとは危険の合図
今すぐ改善ゼロ災害
業務課 横山仁子
優秀賞
マニュアルは災害防止の誘導灯
しっかりと確認ゼロ災害
警備課 伊藤副主任
ユーマア川柳
専務賞
皮下脂肪 マナーモードも 感じない
業務課 五十嵐副主任
担当の施設にて水漏れ事故が発生!ポケベルでの呼び出しがあったのですが、なぜか気がつきませんでした。



ついに登頂
火口反対側の富士山測候所にある(3776M)の三角点に触れ大満足
そこからの南アルプス 奥に見える北アルプスの山並 伊豆大島など一パノラマが眼下に焼きつき
一生の忘れえぬ思い出に

優秀賞
施錠よし キーは抜いても 気は抜くな
警備課 松田周恵
優秀賞
タバコやめ 妻の笑顔が 不気味なり
警備課 大島保之
「じゃ、その分必要ないわね。」と、お小遣いを減らされました。



今回、高山病や怪我もなく『ブジ登山』できたのも登山を甘くみず、装備品に留意し、体調を整え一歩一歩踏みしめながらマイペースで登ったこと。労災防止も同様、慣れた作業でも甘くみない、作業用具の点検、体調管理、作業マニュアルを一歩一歩確実に。無事故を続けていくことを願って。

優秀賞
「じゃ、その分必要ないわね。」と、お小遣いを減らされました。



KYT
危険予知訓練
KYT
危険予知訓練
どのような危険の可能性があるでしょうか?
以前行ったアンケート調査にも取り上げる方が多くいましたが、作業時のみならず建物内を歩くときにもポケケツと歩いてはいただけません。オフィスでは書類や伝票を持ちながら、病院では薬や点滴の確認をしながら歩く職員さんがおられます。ぶつかったり、驚かせたりしないように行動を予測し、より良い対応を判断しなくてはなりません。
この状況とは逆に我々も仕事から下を向いていることが多いです。お客様が近づいてきて通り過ぎようとしているときには作業の手を止めるなり、はじの方によるなどごく自然な振る舞いをしたいものです。
山形県警備業協会
安全衛生大会
六月二十日に大会並びに災害防止ポスター・論文の優秀作品受賞者への表彰式が行われました。我が社からは写真のお二人が受賞されました。
災害防止ポスター 優秀
「ファイターで目指せ事故ゼロ」
警備課・三浦副主任

我が家の安全衛生
もうすぐ一歳になります。歩くようになって嬉しいのですが、それだけに危険がいっぱいです。

チャイルドシート (親の義務ですね) これもピンキリなんです。すごい値段のものもあります。

ウレタンの緩衝材
なめでも洗濯できたり拭きやすいおもちゃ。安全面など考えられて作られています。

交通安全ちよつと一言
後続車にも気配りの運転
前方と一緒に走る車がブレーキを踏みました。障害物はなく歩行者が横断しようとしているわけでもない。方向指示器もついていない。こんな場面に遭遇したことありませんか?おそろくはどちらかに曲がるか停車するのでしょうかが確定するのは危険です。この場合は次のアクションがあるまで後続車は待つしかありません。

右・左折の場合ブレーキを先に踏んではいけないという事はありませんが、まず方向指示器を点滅させどちらに行くかを後続車に合図するのが上手な運転です。
方向指示器による合図のタイミングは、右・左折の場合30メートル手前の地点から、車線変更の場合は変更時の三秒前からとなっています。
朝寝心地いいですね
編集後記
長引いた梅雨もようやく明けて短い(?)夏の到来となりました。読者の方に意見をいただきました。交通安全の記事を入れました。ご意見・要望を頂くということは大変に嬉しいことです。今後も様々な意見を頂けるように紙面の充実を考えていきたいです。
編集・業務課 石原義一
2006.08.07